

# 愛道

あいどう



トピックス

足羽利生苑

## ラストメッセージ

～おばあちゃんありがとう～

第 114 号

2014年1月1日発行

# 新年のごあいさつ



足羽福祉会 理事長  
高村 昌裕

新年あけましておめでと  
うございます。

平成25年11月末、皆様のおかげをもちまして福井市大和田にある「子ども発達支援センター フレンズあすわ」の設置工事が無事完了しました。障がいのある子どもたちを地域で支え、教育や医療・保健との連携により、就学前や卒業後の進路決定において途切れない支援をしていく中核的施設として、しっかりと役割を果たせる

よう努めてまいります。

さて近年、障がいのある方を雇用しながら就労支援をすすめるA型の事業所や、お年寄りの地域生活を支える小規模多機能型のサービス等において、NPO法人や企業の参入が急激に進み、よりの質の高いサービス提供が求められるようになってきました。このような社会環境や制度変革にも対応し、皆様から信頼され、選ばれる事業者となるために、現

場からの「企画提案力」や「問題解決力」が昨今、強く求められています。

当法人では平成24年度から約2年かけて、中堅職員を対象とした「企画力研修」を行ってきました。一般企業向けの経営コンサルタントを講師に、問題の根源を捉えるために考え続けることや、問題解決を図るうえで具体的に行動レベルまでを計画に落とし込むことの重要性を切々と学びました。参加した職員は、ふだん使わないビジネス的な考え方や手法に最初は戸惑っていましたが、チームで話し合い、企画を発表し、指摘をたくさん受け、また考え直すといった取り組みを繰り返しました。

これまで福祉は慈善的活動で、営利目的のビジネスとは別物として語られることが多かったのですが、実は目標が異なるだけで、目標達成のための手段、特に人材育

成や組織のマネジメント手法については、ビジネス現場に学ぶことが多くあります。そして達成するまで諦めずにチャレンジし続ける強い意志や行動力といった部分は、福祉サービスが全くなかった時代に我々の先人たちがもち続けていた福祉の原点にも通じることに気がつきました。

そんな企画力研修2年間の集大成として、各事業所グループ単位で、職員自ら取り組むべき平成26年度事業計画を発表していただき、数多くの具体的な企画提案が出されました。

もちろん、利用者の方の人生がよりよくなるよう応援すること、かつ地域社会に役立つ存在であり続けることが、私たちの大きな目標であることもしっかり確認できました。あとは試行錯誤しながら徹底してチャレンジし続けるのみです。若い職員の熱意ある発表に、私や各施設長も手応えを感じています。

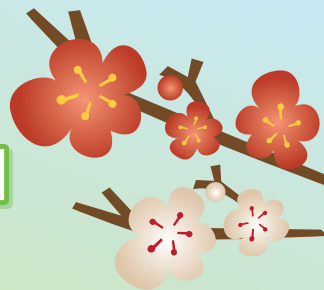
本年もさまざまな福祉ニーズに応えていけるよう、笑顔全開でチャレンジしてまいります。利用者の方やご家族と共に、地域社会と共に、そして職員と共に。何とぞ皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。







# 施設長の か 「今年に駆ける思い」



スタート

子に過ぎたる宝なし  
(子は人生最上の宝である)

『子、親、職員』共に心を寄せ愛歩んでいきます。

足羽東保育園 園長 矢納 ともえ



ゴール

桃栗三年  
柿八年

事を成して、  
豊かな実りに  
あふれる笑顔。

足羽利生苑  
苑長

岩本 昌雄

## 目次 もくじ

- 2 新年のごあいさつ
- 4 はじめまして!! \*なごみ\*です  
… あすわ地域生活支援センター
- 6 力の限り駆け抜けろ!!  
～全国障害者スポーツ大会出場～ … 足羽学園
- 8 ラストメッセージ  
～おばあちゃんありがとう～ … 足羽利生苑
- 10 おせち料理で縁かつぎ
- 12 足羽福祉会合同レクリエーション
- 13 法人からのお知らせ
- 14 愛のささえ

前足は  
理想に  
向けて

後足は現実を踏みしめて  
跳ねる

あすわ就労支援センター  
センター長

大館 嘉昭

商い三年

どんなことでも、  
ある程度の期間は  
辛抱して続けていくことが  
大切である。

足羽学園・足羽更生園  
園長

嶋田 富士男

老馬の智

経験の豊富な者は  
判断を誤らないこと。

愛全園 園長

滝波 正興



「表紙について」

絵手紙クラブメンバーの方  
の作品です。あたたかな作品  
に、“ほっ”と癒されます。

(愛全園 糺川)

1回  
休み



1マス  
進む

「う」運・根・鈍(\*)を忘れずに、  
「ま」満面の笑みで走ります!!

※成功するための「幸運」と「根気」と、鈍いくらいの「粘り強さ」

あすわ相談支援センター・あすわ地域生活支援センター・  
あすわ児童発達支援センター センター長 高村 昌裕



# はじめまして!! \* なごみ \* です

平成25年6月1日、女性用グループホーム・ケアホームとして「なごみ」が開所しました。利用されている方々の生活の様子や活動の様子をご紹介します。

## 地域での生活

「愛道」109号で紹介した足羽更生園初の男性用ケアホーム「とうごう」開所後、次は女性用ケアホームの開設を！ということになりました。このたび念願の開所となりました。現在は「あすわ地域生活支援センター」の1事業所となっています。

1階、2階合わせて11名の利用者の方が生活しており、一人ひとりの部屋には、電子オルガンがあったり、ソファが置かれていたり、畳が敷かれていたりそれぞれ個性が見受けられます。

朝食・夕食は1階のダイニングに利用者の方が集い、テーブルにはランチョンマットを敷き、陶器の茶碗

やコップを使用するなど、家庭的な雰囲気の中、和やかに食事をしています。

余暇活動としては外食や観劇、室内で焼肉パーティーや誕生日会、ハロウィンパーティーを行うなど季節の行事を取り入れており、利用者の方々の楽しみにつながっています。

みなさんも一度「なごみ」に遊びに来てみてください！

みんな揃って楽しい夕食

大好きなラーメンの前に笑顔の中座さん



## グループホーム なごみ ケアホーム

場所: 福井市和田東  
建物: 鉄骨2階建て  
定員: ケアホーム7名(1F)  
グループホーム4名(2F)  
職員: 3名、世話人: 5名



### \* 中座様のお父様より \*

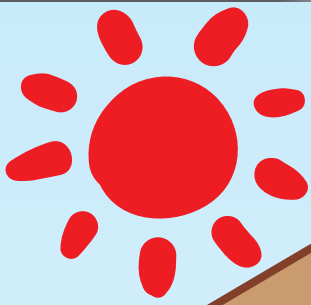
「なごみ」の開所に伴い、娘・紀子の移行を希望して転居させていただきました。

部屋は個室になっていて、設備も充実しているので、とても気持ちの良い環境になっており、うれしく思っています。休日には外食したり、観劇したりと楽しめるようになっており、娘も喜んでおります。

本人も終の棲家と認識しているのか、落ち着いた生活を送っています。毎日感謝の気持ちで過ごしております。







## ～いっぺん見にきねの!!～

### 鈴木さんの 新たな生活

11年間、足羽更生園の女子棟に入所されていた鈴木さん。「なごみ」の開所を機に転居されました。一人部屋に新しいベッド・新しい布団・新しいシーツ…すべてがうれしくて来る人来る人に「部屋見てや〜」と招待してくださいます。

今まで行っていなかった洗濯も自主的に行うようになりました。洗濯機はボタンの操作が難しいよう最初は「どこ押すの？」と職員に確認してこられました。ボタンに印をつけることで少しずつできるようになりました。洗濯物を干したり、乾燥したものを取り込み、たたんだりと自らできることを頑張っています。平日は近くにある生活



ていねいに洗濯物をたたむ鈴木さん

介護事業所「スマイル」へ行き、マット編みやボールペンの検品などを行っています。休日には部屋でのんびり好きなテレビを見て過ごしたり、天気の良い日は他の利用者の方々と近くの公園まで散歩したり…ある秋の日には「なごみ」の周りの草むしりをしてくださり「きれいになったやろ？見て！」と職員に教えてくださいました。

他の利用者の方の面倒見もよく「〇〇さん、一緒にご飯食べよう」と声をかけてくださったり「〇〇さ

んの洗濯物たたんどいたよ」と職員のお手伝いもしてくださいます。利用者の方や職員の役に立つことがご本人の喜びとなっていくようです。

月2回行われている余暇活動も楽しみのひとつで、外出の大好きな鈴木さんはいつも「次どこ行くの？」と気になって職員に聞いてこられます。

今後も自らできることを増やし、地域の中で自立した生活を実現していただきたいと思っています。

#### \*鈴木さんにインタビュー\*

Q. 足羽更生園から「なごみ」に移行してよかったことはなんですか？

A. 一人部屋になってうれしい。Q. 「なごみ」の生活で楽しいことはなんですか？

A. みんなと外出したり、職員と一緒にご飯を食べられたりするのが楽しい。

Q. これからしたいことはなんですか？

A. 下着やよそいきの服を買いに行きたい。

#### \*職員・印牧美佳より\*

開所してから半年がたちました。当初は不安でいっぱいでしたが、利用者の方々の笑顔やご家族の温かい言葉に助けられ、日々支援に励んでいます。

毎月の外出や食事会では利用者の方々に楽しんでいただけるようにさまざまな企画を提供しています。

今後も他の職員、世話人と協力しあい、利用者の方の生活の充実のために一生懸命取り組んでいきたいと思っています。



県内大会の200m走での1コマです

平成25年10月12～14日の3日間、東京都にて全国障害者スポーツ大会が開催されました。今回足羽学園から、嶺北特別支援学校に通う松本樹稀<sup>じゆき</sup>さんが、同大会に出場されました。

普段の松本さんは、シャイで人にあいさつをすることが苦手で、時間にルーズな部分があります。そんな松本さんが全国大会への出場を経て成長した様子についてご紹介します。



### ホップ+

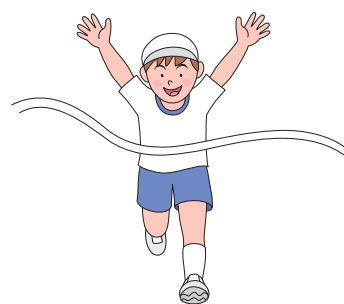
#### 〜県内大会を経て〜

平成25年6月8日に、福井県障害者スポーツ大会が開催され、松本さんは嶺北特別支援学校の選手として出場しました。出場した競技は、200m走、4×100mリレーでした。福井県内の特別支援学校の選りすぐりの選手が出場していましたが、松本さんは200m走で堂々たる1位になったのです！

県内大会を経て、1位という輝かしい成績を残した松本さんは、その後全国大会への切符を手に入れました。

### ステップ+

#### 〜練習開始〜



授業や部活動、行事などがあり、なかなか練習が始められずにいる中、100m走、200m走、4×100mリレーの、計3競技に出場することが決まり、2学期から練習が始まりました。初めての練習当日のことです。職員は練習に遅れないように、と気持ちがあつていました。しかし当の本人は、先生がお迎えに来られる時間までテレビを観て、先生が来られてから練習の準備をするなど、福井県を代表する選手に選ばれたことなげに気にも留めていないような様子でした。

そんな松本さんを担当する阪口保育士はどのような感じに感じていたのでしょうか？話を聞いてみました。



理事長室で壮行会がありました

全国障害者スポーツ大会の出場に向けた練習が始まり、松本さんは日を追うごとに、洗濯や掃除といった基本的なことを、きちんとやらなければいけないという気持ちが出てきたように感じました。全国大会では、好成績を残してやることだけでなく、他の選手の礼儀やマナーも実際に見て学び、今後の生活に活かして行っていただきたいですね。



# ジャンプ！！ 〜全国大会へ〜

平成25年10月10日に福井県庁にて団結式を行い、いざ開催地東京都へ出発しました。



大きな競技場にビックリ!!

現地での様子について、練習のときから引率していただいていた、嶺北特別支援学校の門先生にお話を伺いました。

現地に行くとき自分の出場競技への思いも高まり、メダルが欲しいという気持ちが出てきて、福井県にいるときよりも積極的に陸上競技に取り組む姿勢が見られました。福井県テントから競技場へ向かうときも「今から競技に行つてきます」と大きい声で言うて行くことができました。

また、今回の大会を通して、同年代の選手や他校の先生、県障害者スポーツ指導者協議会の方々、東京都職員のボランティアの方々、都内の学生ボランティアの方々などいろいろな人たちと出会い過ごした中で、初対面の人たちとのコミュニケーションがうまくとれるようになりました。人との接し方やかわり方も学び、普段学校では見たことのないような笑顔や他校の生徒と大声を出して笑いながらはしゃいで遊ぶ様子が見られ、以前よりもとても明るくなった気がします。



テント内でまったりと(^^)

今回松本さんは、全国大会に向かつて駆け抜け、入賞はならなかったものの、自己ベストタイムを出すことができました。その話を聞いた他の利用者の方自身何かを感じとってくださったのではないかと信じています。利用者の方同士で与え合う影響、それに伴う成長を今後も見守ってまいります。

僕は全国大会に出て思ったことは、最初はつかったことのない大きなグラウンドでした。初めてつかったことのないグラウンドでしたが足のところがいたくなったりして大変でした。大会本番では、いろんな人からかいじょうについて、すぐはくはくが来たので、すぐこわがたです。でも、7位でしたけど、みんなはじこきくもだせたのでよかったです。自分は全国でかわたこと、とくに、かわたことはないです。でも、これから、かわりたいと思います。

# ラストメッセージ ～おばあちゃんありがとう～

大好きな祖母に突然の余命宣告…

在宅介護を通して祖母からもらった大切なメッセージを、  
足羽利生苑職員の安野光暢みつひろさんが教えてくれました。



## 突然の宣告

「いいか光暢、友だちとケンカしたらすぐ謝らんとあかんよ。それに、人を悪くするのは酒・金・女やでな」

私が小さいころから何度も耳にしてきた祖母の口癖です。祖母はとても働き者で、嫁ぎ先の姑を自宅で看取り、3人の子どもを育て上げ、家事や畑仕事を一生懸命やってきました。大好きな祖母の影響で私は今、介護職に就いています。

そんな祖母がある日突然、胃がんの末期で余命3ヶ月の宣告を受けました。昨日まで元気に過ごしていただけに、私たち家族のショックは大きく、現実を受けとめることができませんでした。検査入院中の祖母には告知しないまま「絶対病院へ入るのは嫌」という祖母の言葉を聞き、何が出来るかを家族で話し合い、在宅での看取りを決意しました。

## 家族みんなで

祖母が家に帰ってきたその日から、在宅介護が始まりました。私は担当ケアマネージャーとして、医療・福祉と連携を図り、祖母にとって最善の環境を用意することに努めました。

家族間でも介護の役割を決めました。父は毎日祖母の横で寝るようになり、日中仕事をしていた母は、休日はずっと傍について介護を行い、私と妹は食事介助やオムツ交換、妻は薬の管理や話し相手。苦労もあつたけれど、家族全員が一丸となって介護することで、私たちは1つの家族になれたと思います。

奮闘の日々の中でも、明るい出来事もありました。半年後の妹の結婚式に出席できない祖母のために、自宅で花嫁姿を披露しました。和やかな雰囲気や部屋の中に漂い、家族みんなの笑顔があふれていました。





敦賀行ったの楽しかったね



おばあちゃんは「家族」のことをいつも一番に考えてくれていたね



おばあちゃんに恩返しできたかな



びっくりしたやろ～!!

### ありがとう おばあちゃん

在宅介護が始まって2か月半。家族にも疲労の色が見え始め、祖母は腹水がたまり始め、日ごとに容体が悪くなっていきました。

食事も減って自分で食べられなくなり、水分もトロミが必要になりました。父の慣れない水分補給でむせ、私の吸引がうまくできずに看護師を呼んだこともありました。トイレに行くのも困難になり、妻は排便で汚れたオムツも交換していました。「祖母が亡くなってしまう」という不安を抱えながら、私は仕事と在宅介護の両立で、自宅に帰ってから

### おばあちゃんが 教えてくれたこと

祖母が亡くなり3年が経ちました。当時を振り返ると「最期まで自宅にいたい」という祖母の思いを知っていながら、病院に搬送したことは正しかったのか、祖母は幸せだったのだろうか…と、考えるときがあります。

しかし今は「家族についてもっと考え、介護についてもっと勉強し力をつけなさい」という、愛情たっぷりの宿題を、祖母からもらったのだと思えるようになりました。私は単に「介護という仕事」を選んだのではなく、「幸せを作っていく」という生き方を選んだのだと。この経験を糧に、在宅で介護されるご家族や利用者の方と『家族にしかできないこと』を一緒に考え、祖母からもらった宿題を、自分なりに解決していきたいと思っています。

足羽利生苑

居宅介護支援センター

副主任 安野光暢



お正月に欠かせない「おせち」。重箱に詰め重ねて用意するのは  
めでたさを重ねるという意味があるのをご存じですか？  
実は、料理(や素材)の一つひとつにも、縁起の良い由来があります。

### 里芋

子芋がたくさん付くことから、  
子宝に恵まれますようにと願って。

### 蓮根

孔が空いていることから、遠くが  
見えるように先見性のある一年を祈願。



### 紅白なます

お祝いの水引きをかたどったもの。  
平安、平和を願う縁起物。



### 海老

腰が曲がるまで丈夫という長寿の願いが  
込められ、赤色は魔除けの色とされる。

当法人の各施設でも、元日の昼食  
はおせちにちなんだ会食を提供し、利  
用者の方の一年の健康を願います。  
※右は昨年の足羽利生苑の  
「おしながき」です。

迎春  
本年もよろしくお願いたします  
平成二十五年元旦 厨務職員一同

祝膳お品書き  
ぶりの照り焼き  
だてまき  
やわらか七種の野菜しんじょ  
炊き合わせ  
紅白なます  
二色ようかん  
お雑煮風 お神酒




# おせち料理で縁かつぎ

## 紅白かまぼこ

半円形は日の出に似て新しい門出に  
相応しいため。紅は魔除け、白は清浄を表す。

## 伊達巻

巻物の形は書物に似た形から学問や文化を  
意味する。学問や習い事の成就を願って。



## 昆布巻

「よろこぶ」という言葉にかけています。  
語呂合わせ。

## 田造り

材料の片口イワシが田畑の高級肥料と  
して使われたことから豊作祈願の意味。

『おせち』を漢字で書くと『御節』とい  
う字になります。

もともと『おせち』とは『節供(せつく)  
料理』の意味で、五節供の料理の一つな  
のです。

五節供の料理とは、平安時代のころ  
の朝廷の『節日』という行事のご馳走  
『御節供』(おせちく)が後に『おせち』と  
略され、江戸時代に正月料理を意味す  
るようになったとされています。



# 足羽福祉会 合同レクリエーション

平成25年10月19日、

足羽福祉会全施設の利用者の方、ご家族、ボランティア、地域の方など総勢約400名がゲームや踊りで交流する年に一度の恒例イベントが、福井市東体育館で行われました。今回はテーマの「虹」にちなんだゲームにみなさんの笑顔と歓声が広がっていました。



今年のテーマは「虹」

進行は職員の大ちゃん&トモさんによる名コンビ



うさピョン大人気

## 「おかしをつかみとれ!」ゲーム



ボールプールの中からお菓子をゲット!

## 「くぐってつかもう七色のキセキ」ゲーム



風船のお花と交換でお菓子をゲット!

## 歩く虹に入れタマエ(玉入れ)



利用者の方がひっぱるカゴは赤と白の球でいっぱい!



パン吉くん登場



## 虹をひっぱれ(綱引き)



4チームの対抗戦はなんと保育園児チームが優勝!

## よさこい



最後はみんな一緒に踊りました!



## 参加賞の授与



参加された施設の代表の方に理事長から参加賞が授与されました。



# 花壇コンクール「銀賞」入賞!!



平成25年度福井市花壇コンクールに足羽更生園のふれあい花壇を応募したところ「銀賞」に入賞しました!!

平成25年11月5日(火)に表彰式が行われ表彰されました。

地域の住民の方々のご協力をいただき、利用者の方とマリーゴールドの植え付けを行っています。暑い日には水やりを欠かさず行ったり、草むしりをしたりと手入れを行っています。色とりどりの花々は道行く人の癒しとなっています。

## ◆ 地域の清掃活動に職員が参加 ◆



平成25年12月8日(日)福井市木田地区の一斉清掃が行われ、足羽福祉会からも清掃ボランティアに13名の職員が参加しました。

地域の方々とともに遊歩道のゴミ拾いや雑草刈りなどに心地よい汗をかきました。

地域貢献の一環として今後もこうした活動を広げていきたいと思っています。

## ◆ 利用者の方がバス停清掃 ◆



あすわ就労支援センターの地域貢献の一つとして、バス停清掃があります。

自分たちの日中活動場所近くや、休日に外出する際に日ごろ使用する機会の多いバス停周りを、利用者の方2～3人と職員1人で月に一度清掃を行っています。

終了後は、きれいになったバス停を見て、みなさんすがすがしい表情をされています☆

【足羽東保育園】

(ボランティア・交流・訪問)  
 時田篤 山田海斗 宮川定幸 上  
 文殊小学校 上文殊幼稚園 上文  
 殊駐在所 文殊小学校 文殊公民  
 館 東郷小学校 東郷幼稚園 福  
 井県立図書館 福井市東体育館  
 福井市文化会館 上文殊総合開発  
 上文殊交通安全協会 上文殊公民館  
 (研修・実習・見学)  
 内田真理子 木谷知代 高村恵理  
 山口なつみ 藤尾牛舎 福井市交  
 通安全課 一乗谷あさくら水の駅  
 足羽山動物園 太閤山あおい園

【足羽学園・足羽更生園】

(寄付・寄贈)  
 (有)吉田金属 一乗谷朝倉水の駅ふれ  
 あい協議会 自治労福井市職員労  
 働組合  
 (ボランティア・交流・訪問)  
 河村暉 佐々木恵美 片山千代栄  
 黒木涼介 三輪柚佳 高田裕里  
 中谷まゆみ 佐々木知亜樹 小澤  
 晋 十郎直樹 野路唯香 小寺千  
 尋 吉田尚恵 堀忠夫 三井玲子  
 小林登代子 竹村勉  
 (研修・実習・見学)  
 福井大学 福井県立大学

【あすわ就労支援センター・あすわ地域生活支援センター・あすわ児童発達支援センター】

(寄付・寄贈)  
 小清水恵子 梅田健一  
 (ボランティア・交流・訪問)  
 高村智子 松原智子 畑節代 大

島早泰子 尾野美智子 高橋美和  
 子 近藤善勝 中座照子 ふくい  
 若者サポートステーション

(研修・実習・見学)  
 福井県立福井南特別支援学校 福  
 井大学教育地域科学部附属特別支  
 援学校 福井県立嶺北特別支援学  
 校 福井県立盲学校 仁愛大学  
 福井大学

【愛全園】

(ボランティア・交流・訪問)  
 啓蒙保健衛生推進員 啓蒙ボラン  
 ティア 啓蒙民謡クラブ 福井市赤  
 十字奉仕団 小木大正琴クラブ  
 斎藤さよ子 花亀会 山岡玲子  
 太田美代子 本多春子 奥村美枝  
 子 中嶋安子 坂本幸子 熊谷三  
 和子 鈴木陽子 石川幹子 山下  
 敏子 山下敬子 中野節子 福井  
 県医療福祉専門学校 福井県立看  
 護専門学校 福井農林高等学校  
 ギタークラブ 三輪幸容 杉本信  
 子 北山國雄 野路英二 ハーモ  
 ニイなどでしこ 啓蒙壮友会 女性合  
 唱団もんしるちよう

【足羽利生苑】

(研修・実習・見学)  
 福井県医療福祉専門学校 福井県  
 警察学校 福井県立看護専門学校  
 福井県新規採用職員 福井農林高  
 等学校 藤島中学校 大東中学校  
 奥平美由記 村田由香里  
 (寄付・寄贈)  
 順化地区社会福祉協議会

【ボランティア・交流・訪問】

福井市赤十字奉仕団 丸山グルー  
 プ まーまれーど美容室 宇都宮  
 友美 美容室倶楽部浜田 戸嶋聡  
 美 松宮あさ子 児玉美子 定兼  
 紘美 本田幸雄 梯洋枝 中嶋正  
 子 オカリーナポルテ 野坂幸雄  
 中井昭 土田美加 小野博嗣 山  
 田ますみ 太極拳増永とよ美 ザ・  
 インキョーズ マスターピース  
 ハーモニカなどでしこ 宮浦知恵子  
 館千恵子 江端茂子 加畑良宏  
 飛寄来会 ガールスカウト 荒木  
 新保町スコップ三味線ガールズ 福  
 井県医療福祉専門学校 大原ス  
 ポーツ医療保育福祉専門学校  
 (研修・実習・見学)  
 福井県医療福祉専門学校 福井県警  
 察学校 大原スポーツ医療保育福祉  
 専門学校 日本福祉大学 福井県立  
 大学 福井県立看護専門学校 福井  
 市医師会看護専門学校 酒生地区社  
 会福祉協議会 成和中学校 酒生幼  
 稚園 順不同・敬称略

編集後記

● 早速、次号に向けて取り組ん  
 でいます(笑)今年もまた前向  
 きにいろんな壁を乗り越えて  
 いきます。 平泉(保)

● 2014年の幕開けです！今  
 年は何かを変えたい！日々精  
 進します(笑) 江上(学)

● 読んでくださる人たちがほっこ  
 りするような、そんな愛道作り、  
 今年も頑張ります！ 平鍋(更)

● 2度目の広報委員です。久しぶ  
 りの原稿…大変でしたが楽し  
 かったです！ 新屋(就)

● 寒い時期が続きますが、心は温  
 かく一年過ごせますように☆  
 加藤(就)

● 新しい年がスタート。日々新た  
 な気持ちで頑張りますよ。 羅川(愛)

● 渾身の思いで編集した『ラスト  
 メッセージ』。みなさんの心にひ  
 びきますように…。 前田(利)

● 絵手紙、いいですね。人生の先輩  
 のさりげない言葉にも味が感じ  
 られます。 川縁(木)

● 平成25年11月、福井県社会福  
 祉協議会主催「ふくし広報コ  
 ンテスト」において「愛道」が  
 最優秀賞を受賞しました。こ  
 の場をお借りしてご報告と投  
 稿にご協力いただいた皆様、  
 ご意見ご感想をいただいた読  
 者の皆様にお礼申し上げます。  
 この賞を励みとして編集委員  
 一同、よりよい誌面づくりに  
 邁進いたします。 安田(本)



社会福祉法人 足羽福祉会 <http://www.asuwafukushikai.jp/> 法人本部 福井県福井市榎野町20-7 TEL(0776)41-3108

足羽東保育園 福井県福井市東大味町10-1-1 TEL(0776)41-3122  
 あすわ地域生活支援センター 福井県福井市榎野町20-5 TEL(0776)41-3795

あすわ就労支援センター 福井県福井市榎野町20-5 TEL(0776)41-3795  
 あすわ児童発達支援センター 福井県福井市大和田1-1607 TEL(0776)53-3330

足羽学園・足羽更生園 福井県福井市宿布町19-46-1 TEL(0776)41-3120  
 愛全園 福井県福井市丸山町40-7 TEL(0776)53-5411

あすわ相談支援センター 福井県福井市成和1丁目1009-2 TEL(0776)88-0001  
 足羽利生苑 福井県福井市榎野町20-7 TEL(0776)41-3121